

X 病害虫総合管理集団育成事業

1. 課題名：スクミリングガイの総合防除（1年目）

- (1) 集団名及び代表者氏名：  
福重地区ジャンボタニシ防除対策協議会 岡部長男
- (2) 対象作物名： 水稻
- (3) 対象病害虫名： スクミリングガイ
- (4) 集団設置市町村名： 大村市
- (5) 事業の実施内容：
  - 1) 河川、排水路における田植前、収穫前の捕殺作業
  - 2) 水田における捕殺、浅水管理による食害防止
  - 3) 田植後水田の薬剤防除による食害防止
- (6) モデル集団の設置実績

設置場所	作付面積	発生面積	設置期間	備考
大村市福重	200ha	150ha	平成3年 6～12月	

(7) 事業検討会の開催実績

会議名等	開催時期	開催場所	構成員数	構成員の範囲	検討事項
事業実施計画検討会	5月21日	農協	10名	協議会役員、農協	計画実施について
展示圃調査	7月15日	現地	7	協議会役員、農協普及所	効果確認調査
捕殺	6月12日 10月1日	現地	360		

(8) 試験圃場の設置

設置場所	設置内容
大村市今富町 皆同町	バダン粒剤の箱施薬とクタジンP粒剤の組合せ 浅水管理と中期除草剤利用による防除対策

(9) 実施の効果

各区とも田植後調査において効果を認めたが、降雨時の増水により排水路から水田内への貝の流入が多かった。

2. 課題名：スクミリングガイの総合防除（1年目）

- (1) 集団名及び代表者氏名：  
飯盛町ジャンボタニシ防除対策協議会 石原繁義
- (2) 対象作物名： 水稻
- (3) 対象病害虫名： スクミリングガイ
- (4) 集団設置市町村名： 飯盛町
- (5) 事業の実施内容：
  - 1) 一斉捕獲
  - 2) キタジンP粒剤等の薬剤散布による総合的防除
- (6) モデル集団の設置実績

設置場所	作付面積	発生面積	設置期間	備考
飯盛町	40ha	30ha	平成3.4 ～平4.3	

(7) 事業検討会の開催実績

会議名等	開催時期	開催場所	構成員数	構成員の範囲	検討事項
飯盛町ジャンボタニシ防除対策協議会	5月31日	役場	16名	町、生産者代表 農協、普及所 防除所	平成3年度事業計画
	7月8日	現地	20	町、農協 生産者代表	一斉捕獲 検討

(8) 試験圃場の設置

設置場所	設置内容
飯盛町 (開平野)	田植後、クタジンP粒剤を10a当り3kg散布

(9) 実施の効果

効果不十分で一部で被害が発生した。

3. 課題名：チャノキイロアザミウマの総合防除（1年目）

- (1) 集団名及び代表者氏名：  
大広川柑橘生産組合 斉藤辰朗
- (2) 対象作物名：温州ミカン
- (3) 対象病虫害名：チャノキイロアザミウマ
- (4) 集団設置市町村名：西彼町
- (5) 事業の実施内容：  
1) 黄色粘着トラップによる発生消長調査  
2) 発生消長調査に基づく一斉防除  
・防除適期時の広報活動等
- (6) モデル集団の設置実績

設置場所	作付面積	発生面積	設置期間	備考
西彼町小迎郷大堀	1.4 ha	1.0 ha	平成3年 6～10月	

(7) 事業検討会の開催実績

会議名等	開催時期	開催場所	構成員数	構成員の範囲	検討事項
スリップス発生子察検討会	6月12日	農協	8名	町、普及所、農協 生産組合代表	発生子察 防除時期
	8月2日	農協	8	同上	同上

(8) 試験圃場の設置

設置場所	設置内容
西彼町小迎郷大堀	トラップを2か所設置し、10日おきに調査した。

(9) 実施の効果

チャノキイロアザミウマの発生が少なかったため、薬剤散布の省力化ができた。またこの害虫による傷果が少なく、青果率を高めた。

4. 課題名：きゅうり主要病虫害の総合防除（1年目）

- (1) 集団名及び代表者氏名：  
北高農協宇良支所蔬菜部会 砂崎信好
- (2) 対象作物名：きゅうり
- (3) 対象病虫害名：きゅうりの主要病虫害
- (4) 集団設置市町村名：高来町
- (5) 事業の実施内容：  
1) 病虫害防除実態調査  
2) 病虫害発生状況調査  
3) 肥培管理状況調査  
4) 総合防除展示図の設置  
5) 会議開催  
(6) モデル集団の設置実績

設置場所	作付面積	発生面積	設置期間	備考
高来町宇良	2.4 ha	2.4 ha	平成3.7 ～平4.3	

(7) 事業検討会の開催実績

会議名等	開催時期	開催場所	構成員数	構成員の範囲	検討事項
事業説明会	6月7日	農協	10名	町、普及所 農協、防除所	事業説明 実施計画
事業実施計画検討会	6月24日	農協	10	町、普及所 農協、防除所	実施計画 検討
事業実績検討会・中間検討	12月16日	農協	24	町、普及所 農協、防除所	抑制実績 促成計画

(8) 試験圃場の設置

設置場所	設置内容
高来町宇良	病虫害防除実態調査、病虫害発生状況調査 肥培管理状況調査

(9) 実施の効果

肥培管理実態、発生実態把握に基づく効果的防除により集団の防除に対する意識を高めた。

5. 課題名：ナス青枯病の総合防除（1年目）

- (1) 集団名及び代表者氏名：  
宮地区施設茄子生産組合 鎌取和喜
- (2) 対象作物名：ナス
- (3) 対象病害虫名：青枯病
- (4) 集団設置市町村名：佐世保市
- (5) 事業の実施内容：
  - 1) 土壌処理剤、土壌処理方法の実施検討
  - 2) 地下水位の動向調査（月1回）
  - 3) 耐病性台木の検討
- (6) モデル集団の設置実績

設置場所	作付面積	発生面積	設置期間	備考
佐世保市農協 宮地区管内	2.3ha	1.0ha	平成3.8 ～平4.6	

(7) 事業検討会の開催実績

会議名等	開催時期	開催場所	構成員数	構成員の範囲	検討事項
事業実施計画検討会	8月17日	農協	15名	総合農試、防除所 普及所、生産者	実施要領 について
事業実施状況検討会	11月18日	現地	12	普及所、生産者	実施状況 について
事業実施状況検討会	3月6日	現地	12	普及所、生産者	実施状況 について
事業実施状況検討会	6月12日	現地	12	普及所、生産者	実施状況 について

(8) 試験圃場の設置

設置場所	設置内容
佐世保市長畑	耐病性台木の導入、地下水位調査

(9) 実施の効果

土壌の水管理、耐病性台木、土壌消毒剤による効果的防除により青枯病の発生を抑制した。

6. 課題名：スクミリンゴガイの総合防除（2年目）

- (1) 集団名及び代表者氏名：  
浜ノ田集団 森田治義
- (2) 対象作物名：水稲
- (3) 対象病害虫名：スクミリンゴガイ
- (4) 集団設置市町村名：吾妻町
- (5) 事業の実施内容
  - 1) キタジンP粒剤の一斉防除散布によるスクミリンゴガイの被害軽減。
- (6) モデル集団の設置実績

設置場所	作付面積	発生面積	設置期間	備考
浜ノ田	40ha	30ha	平成3年 6～10月	

(7) 事業検討会の開催実績

会議名等	開催時期	開催場所	構成員数	構成員の範囲	検討事項
事業実施計画検討会	6月2日	農協	10名	町、生産者代表 農協、普及所 防除所	圃場の決定 散布方法
事業実施状況検討会	6月30日	農協	20	同上	効果確認 被害調査
事業実績検討会	7月29日	農協	25	同上	次年度計画

(8) 試験圃場の設置

設置場所	設置内容
浜ノ田	田植後3日目にキタジンP粒剤を10a当り3 ～4kg散布

(9) 実施の効果

一斉捕獲及び薬剤利用による被害防止により完全ではないが薬剤防除効果を認めた。

7. 課題名：水稲主要病害虫の総合防除（2年目）

- (1) 集団名及び代表者氏名：  
森山町釜の鼻良質生産組合 山口健一
- (2) 対象作物名：水稲
- (3) 対象病害虫名：ウンカ、コブノメイガ、いもち病、紋枯病
- (4) 集団設置市町村名：森山町
- (5) 事業の実施内容
- 1) 肥培管理技術と要防除水準に基づいた病害虫防除を組み合わせた防除体系の推進
  - 2) 本田防除回数の低減（本集団3回、他地域6回）
- (6) モデル集団の設置実績

設置場所	作付面積	発生面積	設置期間	備考
森山町	18ha	18ha	平成3年 6～10月	

(7) 事業検討会の開催実績

会議名等	開催時期	開催場所	構成数	構成員の範囲	検討事項
事業実施計画検討会	7月5日	農協	10名	町、農協、生産者防除所	実施計画立案
事業実施状況検討会	7月17日 8月10日	現地	18	町、農協、生産者防除所	実施状況被害調査
事業実績検討会	11月25日	農協	18	町、農協、生産者防除所	実績検討会

(8) 試験圃場の設置

設置場所	設置内容
森山町田尻名東中仕切	2ha

(9) 実施の効果

発生実態把握、防除要否検討による省農薬に努め、周辺の防除回数が5回の時、3回防除で被害を防止した。

8. 課題名：大豆ハスモンヨトウの総合防除（2年目）

- (1) 集団名及び代表者氏名：  
下名大開地区生産組合 土井 豊
- (2) 対象作物名：水稲
- (3) 対象病害虫名：ハスモンヨトウ
- (4) 集団設置市町村名：森山町
- (5) 事業の実施内容
- 1) フェロモントラップを用いた発生消長調査
  - 2) 発生消長調査に基づいた効率的防除
  - 3) 共同防除
- (6) モデル集団の設置実績

設置場所	作付面積	発生面積	設置期間	備考
森山町	20ha	20ha	平成3年 7～11月	

(7) 事業検討会の開催実績

会議名等	開催時期	開催場所	構成数	構成員の範囲	検討事項
事業実施計画検討会	7月5日	農協	10名	町、生産者代表 農協、普及所 防除所	実施計画立案
事業実施状況検討会	8月5日 8月22日	現地	41 46	町、生産者代表 農協、普及所 防除所	発生調査 防除適期 検討
事業実績検討会	11月20日	公民館	50	同上	実績検討会

(8) 試験圃場の設置

設置場所	設置内容
森山町下名大開	フェロモントラップ1か所

(9) 実施の効果

フェロモントラップを用いた発生子察に基づく効果的防除を行ったが、台風災害のため成果の確認ができなかった。

9. 課題名：みかんチャノキイロアザミウマの総合防除（2年目）

- (1) 集団名及び代表者氏名：  
佐世保市農協宮地区柑橋組合 山口健一
- (2) 対象作物名：みかん
- (3) 対象病害虫名：チャノキイロアザミウマ
- (4) 集団設置市町村名：佐世保市
- (5) 事業の実施内容：
  - 1) 黄色粘着トラップを用いた発生消長調査（1週間間隔）
  - 2) トラップに基づく効率的防除の実施
  - 3) 効率的防除体系の確立
- (6) モデル集団の設置実績

設置場所	作付面積	発生面積	設置期間	備考
佐世保市農協宮地区管内	150ha	100ha	平成3年6～10月	

(7) 事業検討会の開催実績

会議名等	開催時期	開催場所	構成員数	構成員の範囲	検討事項
事業実施計画検討会	7月16日	現地	5名	普及所、農協代表者、防除所	実施要領について
事業実施状況検討会	11月5日	現地	5	普及所、農協代表者、防除所	実施状況について
事業実績検討会	12月6日	農協	12	普及所、農協代表者、防除所	実績検討

(8) 試験圃場の設置

設置場所	設置内容
佐世保市宮地区茅原野田	黄色粘着トラップにより週1回調査（6～10月）

(9) 実施の効果

野田は被害量は少なかったが、茅原はやや高率であった。

10. 課題名：トマト灰色かび病の総合防除（2年目）

- (1) 集団名及び代表者氏名：  
小串ハウス生産組合 一ノ瀬久義
- (2) 対象作物名：トマト
- (3) 対象病害虫名：灰色かび病
- (4) 集団設置市町村名：川棚町市
- (5) 事業の実施内容
  - 1) 温湿度管理等による耕種的防除の徹底
  - 2) 耐性菌検定による薬剤の合理的組合せ防除の推進
- (6) モデル集団の設置実績

設置場所	作付面積	発生面積	設置期間	備考
川棚町小串郷	2.6ha	2ha 1ha	平成3.4～平4.3	

(7) 事業検討会の開催実績

会議名等	開催時期	開催場所	構成員数	構成員の範囲	検討事項
事業実施計画検討会	10月24日	公民館	15名	町、生産者代表、農協、普及所、防除所	実施計画について
事業実施状況検討会	12月10日	現地	12	同上	現状と対策
事業実施状況検討会	1月17日	現地	12	同上	現状と対策
事業実績検討会	2月17日	農協	16	同上	調査結果検討

(8) 試験圃場の設置

設置場所	設置内容
川棚町小串郷	耐性菌検定による薬剤の新防除体系の実証

(9) 実施の効果

温湿度管理及び耐性菌検定に基づく薬剤防除の合理化により発生が少なかった。